

更生保護施設の処遇などについて夜遅くまで熱い思いを聞かせていただいたことなどを印象深く覚えていきます。そして、巡り巡って、この度、婦性会の担当ということになり、何か不思議な「縁」を感じているところです。

昨今は刑務所出所者等の再犯防止が喫緊の課題となっております。婦性会には、再犯防止のためのキーワードである「居場所」と「番（仕事）」を対象者に与えるという大きな役割を担っていたいただいており、年間収容率や平均在所日数などを見てもその実績は全国でも相当高い水準にあることがうかがえます。なるべく多くの希望者を受入れて、職員一丸となって、対象者の在所中に更生のきっかけづくりや今後の生き方を見出せるような処遇を心がけているほか、退所した対象者のフォローアップ事業にも積極的に取り組む旨の話を施設長からうかがいました。婦性会に入所する多くの刑務所出所者等が、婦性会に入所した「縁」により、更生の道を歩んでほしいと願いますし、婦性会を自分の「ふるさと」として、相談事や近況報告などで婦性会に立ち寄る対象者が増えることを期待したいところです。

更生保護施設に対する役割や重要性が高まっております。微力ではありますが、処遇施設として婦性会の更なる発展のため、役職員の皆様と一緒に更生保護事業の推進に努めていきたいと思っています。

今後とも関係者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



千葉県婦性会の担当官として

千葉保護観察所  
保護観察官

千葉県婦性会担当

佐藤 薫



平成二十八年四月から千葉県婦性会の担当をしております佐藤薫と申します。更生保護施設を担当することは、前任地の東京保護観察所で更生保護施設を担当して以来四年ぶりです。

婦性会は、全国の更生保護施設のなかでも収容率は高く、平均在所日数が短期間であるなど全国から注目を集める施設です。これも平素から、婦性会の職員の皆様や関係機関の皆様の賜物であります。この場をお借りして御礼申し上げますとともに、今年度もより一層のお力添えをお願いいたします。

更生保護施設とは、刑事施設等から釈放された人や保護観察を受けている人のなかには頼るべき親族等がいなかったり、生活環境に問題を抱えているという理由で、直ちに自立することが難しい人が少なくない。更生保護施設は、こうした人たちが一定期間宿泊させ、食事の提供、就職支援、社会生活に適応させるために必要な生活指導を行うことなどとして、再犯を防ぎ、円滑な社会復帰、自立を支援する施設です。

入所者は、更生保護施設在所中に仕事に就き、自立資金を蓄え、自立を目指すことが基本であり、指導する側の人は、入所者へ自助の責任を自覚させる、促すことが重要であります。その

季節毎に花を咲かせてくれる庭の木々たち

紫陽花 (アジサイ)



百日紅 (サルスベリ)  
夏の暑さにも負けず...



玄関に咲く可愛い花「ランタナ」  
花の色が変わっていくので和名は「七変化」。



梔子 (クチナシ)  
甘い香りに初夏を感じます



ために、指導する側の人は、入所者の受け入れ調整、各種生活指導、処遇プログラムを実施しています。しかし、入所者の傾向として、何をすれば自立できるか、再犯しないためには何をすべきか、自身のおかれた状況を客観的に捉え本気で自身の犯した罪と向き合おうとする人は少ないように感じます。入所者ができないことを助けることは簡単ですが、自助は、自分でできる事を広げるといった意味合いがあり、入所者自ら努力することを求めているのです。入所者本人の有する能力に応じ、自立した日常生活を送ることができると目指しています。